

## 関東大震災100周年シンポジウムを開催しました

9月4日（月）、香川大学幸町キャンパス研究交流棟6階第1講義室において、「関東大震災100周年シンポジウム～大規模地震への備え 四国4県5大学の取り組み～」を開催しました。（主催：四国官学連携防災・減災協議会）

当協議会の長谷川会長より開会挨拶の後、基調講演として、香川大学名誉教授の白木渡教授より、「南海トラフ巨大地震への備え～四国官学連携の意義と期待～」についてご講演いただきました。その後、香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携機構地域強靱化研究センター長金田義行教授の進行により、香川県、徳島県、愛媛県、徳島大学のそれぞれの立場から関東大震災より得られた教訓や南海トラフ地震への備え、人材育成等について、活発な議論が行われました。

参加者からは、「南海トラフ地震に向け四国4県5大学で連携し、取り組む必要性を再認識できた。」や「互いの取り組みや意見を知ることができ、気づきを得る機会となった。」などの意見が寄せられました。

会長挨拶



基調講演



パネル討論



閉会挨拶

